

あいち病害虫情報 最新情報

平成26年7月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

熱中症に注意！！

7月10日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、期間の前半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

ほ場での病害虫の発生状況をよく観察し、天候を考慮に入れて、的確な防除を心がけましょう。また、気温については、平年より高い確率が50%となっています。暑さの厳しい時期なので、農薬の散布に際しては、朝夕の涼しい時間帯を選んで作業するなど、健康管理にも留意しましょう。

斑点米カメムシ類多発！

斑点米カメムシ類の7月上旬の発生は、水田内、畦畔雑草ともに多い状況が続いていますので、穂揃期の防除を心がけましょう。詳細については、本日発表の「平成26年度発生予察注意報第2号」を参照してください。

オオタバコガ急増！

ダイズ、キクほ場に設置したフェロモントラップにおいて、誘殺数が7月上旬に急増しており、今後、キクやダイズで被害の発生が予測されます。詳細については、本日発表の「平成26年度発生予察注意報第3号」を参照してください。

イネの病害虫

葉いもち病は、7月上旬の巡回調査では、ほ場での発生を認めませんでした。過去10年で最も少ない発生量です。このため、平年並の時期に梅雨が明ければ、穂いもちの発生は少ないと予測します。いもち病の発生状況等については、本日発表の「いもち病（葉いもち）情報第3号」を参考にしてください。

セジロウンカは、7月上旬の巡回調査において県内全域で発生を確認しましたが、発生量は平年並です。トビイロウンカは、予察灯で6月下旬に誘殺されましたが、7月上旬の巡回調査では、ほ場での生息を認めませんでした。発生状況等については、本日発表の「ウンカ情報第2号」を参照してください。

果樹カメムシ類がトラップに多飛来！！

フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、7月上旬に急増しました。予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺数も多い状況が続いています。

現在、チャバネアオカメムシはスギ・ヒノキ球果を餌として生育していますが、餌がなくなると、果樹園に飛来してきます。今年は、越冬世代成虫の発生量がやや多く、スギ・ヒノキ球果量がやや少ないため、餌を求めて果樹園へ大量飛来することが懸念されます。ほ場への飛来状況に注意しましょう。詳しくは、本日発表の「果樹カメムシ情報第3号」を参照してください。

ナシヒメシンクイの発生に注意！

ナシヒメシンクイは、7月上旬調査ではモモの被害果率がやや高く、フェロモントラップにおける誘殺数は平年並からやや多い状況です。誘殺ピーク時期は、おおむね平年並です。

7月以降は、本虫が果実に食入する重要な時期になります。成虫の発生ピークから6日後頃が防除適期になるので、フェロモントラップの誘殺状況を参考に、適期防除を心がけましょう。また、交信攪乱剤（コンフューザーNなど）を設置しているほ場で、7月以降に再度設置する予定がない場合は、収穫期間中に効果が低減し、被害が出る可能性があります。今後の発生動向に十分注意し、適期防除を心がけましょう。

果樹の病害

ナシ黒星病の発生ほ場では、伝染源となる発病葉や発病果を除去して適切に処分するとともに、耐性菌の発生を避けるため、同一系統薬剤の連用を控え、異なる系統の農薬をローテーション散布しましょう。

チャノキイロアザミウマ

チャノキイロアザミウマの第4世代成虫の発生ピークは、名古屋7月23日、愛西7月27日、豊田、蒲郡7月28日、南知多、伊良湖7月29日、岡崎、豊橋7月30日、新城8月2日と予測します。また、稲武では第3世代成虫の発生ピークは8月3日と予測します。発生ピーク予測日を目安にして、ほ場を観察し適期防除に努めましょう。ブドウ、カキ及びウンシュウミカンの防除薬剤については、7月1日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第3号」を参照してください。

トマト苗へのタバココナジラミの寄生を防ぎましょう！

トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介するタバココナジラミが露地で活発に活動する時期です。トマト栽培が周年化している産地では、育苗時におけるTYLCVの感染防止が重要です。タバココナジラミに効果のある粒剤を施用するとともに、侵入防止対策として、育苗施設の施設開口部に防虫ネット（目合い0.4mm以下）を設置しましょう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方气象台7月10日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）〉

〔気温〕	低い	: 20%	平年並	: 30%	高い	: 50%
〔降水量〕	少ない	: 20%	平年並	: 40%	多い	: 40%
〔日照時間〕	少ない	: 40%	平年並	: 40%	多い	: 20%

○農薬危害防止運動実施中（6月1日から8月31日まで）

今年度の重点事項は次の3つです。

- 1 農薬ラベルの十分な確認
- 2 農薬の飛散防止
- 3 農薬の盗難・紛失等の防止

- 農薬を使用する前に、ラベルの内容をよく確認し、使用方法を守りましょう。
- 農薬の飛散防止に努めましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 暑い時期です。作業中に熱中症にならないよう注意しましょう。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病虫害防除室
TEL 0561-62-0085 FAX 0561-63-7820